

湯原王の宴席の歌二首

三七六番

あきづ羽はの 袖振そでふる妹いもを 玉たまくしげ 奥おくに思おもふを
見みたまへ我あが君きみ

三七七番

青山あをやまの 嶺みねの白雲しらくも 朝あさに日けに 常つねに見みれども め
ずらし我あが君きみ

やまのへの すくねあかひと 山部宿禰赤人、
すぎにしおほまへつきみふちはらのいへしま 故太政大臣藤原家の山池

を詠む歌一首

三七八番

古いにしへの 古ふるき堤つつみは 年とし深ふかみ 池いけのななぎさに 水み草くさ
生おひにけり